

国境の難民診療所 メータオ・クリニック院長

# シンシアマウン 講演会



2024.11.14  
18:00 開場 (木)

📍 会場 同志社大学 同志社良心館103  
大学施設のため、一般駐車場・駐輪場は  
ございません。公共交通機関をご利用  
ください。

参加無料  
申込  
こちら→



メータオ・クリニックとは

1989年にタイ北西部の国境の町メーソートに  
医師シンシアマウンが創設した診療所。  
軍事政権による迫害、弾圧によりタイに逃れてきた  
ミャンマー難民に無償で医療ケアを行っている。



## 講演内容

### 第1部

18:30～

ミャンマーにおける  
健康安全保障と人権について

シンシア・マウン氏 (メータオ・クリニック院長)

### 第2部

19:30～

タイ・ミャンマー国境で逆境に立ち向かう  
移民コミュニティとネットワーク

サンティファップ・マウンジャムロード氏  
(スワンナミン財団・副代表)

国境における  
プライマリ・ヘルスケアサービスの先へ

ティー・ター・スエ氏

(Burma Medical Association・副代表)

## 講演者紹介



### シンシア・マウン氏

1959年ヤンゴン近郊生まれ。メータオ・クリニック院長。大学卒業後大病院に勤務したのち、1988年タイのメーソートに亡命。ビルマ難民・移民を無償で診療するメータオ・クリニックを創設する。

2002年アジアのノーベル賞といわれる「マグサイサイ賞」を受賞。2005年にはノーベル平和賞にノミネートされ、その他、世界各国の国際人権賞を多数受賞している。



### サンティファップ・マウンジャムロード氏

1993年タイ・メーソート生まれ。

スワンナミン財団・副代表。タイ・ミャンマー国境における緊急人道支援、公衆衛生向上活動、女性と子供の保護、教育、アドボカシー、タイ政府との調整業務などを主導する。特にカレン・カレニー州の国内避難民、およびタイ側の避難民への緊急支援活動に注力している。



### ティー・ター・スエ氏

1988年ミャンマー・カレン州生まれ。Burma Medical Association・副代表。医療サービス、コミュニティでの健康増進活動等を担当。また、タイ・ミャンマー国境の9つの少数民族およびコミュニティベース保健組織の連合体である、保健情報システム・ワーキンググループを率い大規模な人口調査や保健調査の実施、デジタルヘルス・インフラの強化で重要な役割を果たしている。

ビルマ語通訳：原田正美氏

(大阪大学外国語学部ビルマ語非常勤講師)

主催：国際居住研究会 同志社難民支援プロジェクト Re-ING

共催：一般社団法人 日本ビルマ救援センター



[www.brcj.org](http://www.brcj.org)

NPO法人 メータオ・クリニック支援の会



[brcj@syd.odn.ne.jp](mailto:brcj@syd.odn.ne.jp)

